

Trans Femoral Intervention(TFI)の患者の苦痛

排尿困難・腰痛

Trans Radial intervention(TRI)のメリット

出血合併症が少ない・安静時間が短い・コメディカルが楽

TRIの難しさ・・・穿刺が難しい・バックアップが弱い 異論あり

- 一般的には、サイズが大きいものほど backup 力は大きい(8F>7F>6F)
Judkins(JL)では TRI より TFI の方が 60% backup 力が大きい、 backup カテ(EBU)では 8%大きいにすぎない。
- Ikari(IL)では TRI,TFI とも変わらない。
- TRI において backup 力は、IL4 の power position>IL4>backup type 3.5>JL4 の deep engagement>JL3.5>JL4 となる。

$$F=(f\cos \theta + \mu N)/\cos \alpha$$

F:バックアップ力, f:カテーテルを前方に押す力, μ :GC と対側 Ao 壁のなす角度, θ :GC と Ao のなすもう一方の角度, N :摩擦

Reference

Ikari Y, et al. The Physics of guiding catheters for the left coronary artery in transfemoral and transradial interventions. *J Invasive Cardiol* 2005;17:636-41